

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		エブリースマイル				公表日	2026年 2月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・危険のないように環境設定を配慮しています。	・部屋と部屋の間のドアが重たい。また、子どもが勝手に鍵をかけることができてしまうので注意が必要。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・子どもたちが安全に過ごせるよう人員配置を配慮しています。	・引き続き、安全に過ごせる人員配置を徹底します。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・障害特性上一人では心配な箇所は必ず同性の職員が一緒に付き添い、安全に過ごせるようになっています。	・引き続き、小さな段差があるところをフラットに近い形にする等、改善検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・きちんと整頓された過ごしやすい環境づくりを徹底しています。	・引き続き、安心安全に過ごせる環境づくりを徹底します。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・必要に応じて落ち着ける空間を確保できるよう努めています。	・構造上の問題から完全な個別の部屋の確保は難しいが、ある程度一人で居られる空間を提供できるように工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・毎週会議の日を決めており、業務改善を進めるための目標設定と振り返りを行っている。	・引き続き職員全体で共通認識を持って支援にあたることが出来る環境づくりに取り組みます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・意向をまとめたものを職員に周知しています。また、会議等でしっかりと業務改善に向けて話し合う場を設けています。	・引き続き職員全体で保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋がれるよう取り組みます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員の意見等を把握するため、会議や個々に意見を聞く機会を設けています。	・定期的に個別面談を取り入れ、業務の改善、質の向上に努めます。また、より意見を出しやすい環境づくりに努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・アンケートにより評価を頂いています。	・客観的な意見を頂戴できる環境設定ができるよう検討し、改善に繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・積極的に外部研修の受講をしており、事業所内で共通認識のもと支援にあたることが出来るよう報告の機会も設けています。	・引き続き、事業所内で共通認識のもと支援にあたることが出来るよう積極的に外部研修の機会等を設けていきます。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・事業所内で話し合いの場を設け、支援プログラムの作成をし、公表しています。	・引き続き、適切に支援プログラムを作成し、公表します。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・定期的に（または必要に応じて）アセスメントを行った上で放課後等デイサービス計画の作成にあたっています。	・引き続き、定期的に（または必要に応じて）アセスメントを行った上で放課後等デイサービス計画の作成を行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・会議等を通して職員全員の共通理解のもとで子どもの最善の利益を考慮した検討を行っています。	・引き続き、会議等を通して職員全員の共通理解のもとで子どもの最善の利益を考慮した検討を行っていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・会議等を通して放課後等デイサービス計画を職員間に共有し、計画に沿った支援が行えるようにしています。	・引き続き、会議等を通して放課後等デイサービス計画を職員間に共有し、計画に沿った支援が行えるようにしていきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4	・保護者からの聞き取り、病院等での検査結果等からの分析、日々の行動観察等を含むフォーマル・インフォーマルアセスメントを使用し、適応行動の状況の確認に努めています。	・フォーマルアセスメントは保護者より結果表を提出していただき聞き取りをした上で、事業所での様子と合わせて再確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容を設定しています。	・引き続き、ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で、具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・日々の打ち合わせ等を通してチームで活動プログラムを立案し、具体化させていっています。	・引き続きチームで活動プログラムを立案し、計画実行していくように努めます。	

援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・プログラムは必要に応じて変化変容させています。	・引き続き、子どもたちの状態に見合った成長発達を促していくようなプログラムの実施に努めます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	・引き続き、子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・支援の大まかな方向性は会議等で適宜話し合い、日々の細かな注意点や支援内容等については開始前にミーティングをしています。	・引き続き、チームで連携して支援を行っていきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・気付いた点や送迎時知り得た話等は都度共有し合っています。当日に共有が難しい場合でも気を付ける点や気付いた点等は翌日又は支援前に共有するようにしています。	・引き続き、気を付ける点や気付いた点等は都度職員間で共有するようにしていき、職員共通理解のもとで支援を行っていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・チーム全体で記録をとり、適宜支援の検証・改善に努めています。	・引き続き、チーム全体として記録を徹底し、支援の検証・改善に努めています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・行っています。	・引き続き、定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っていきます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	・放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っています。	・引き続き、放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っていきます。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・個々の活動（製作等）や集団活動において柔軟に対応できるよう、子どもからの発言や行動を大切にして支援を行っています。	・引き続き、個々の活動（製作等）や集団活動において柔軟に対応できるよう、子どもからの発言や行動を大切にして支援を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・子どもの状況をよく理解した者が参画しています。	・引き続き、子どもの状況をよく理解した者が参画します。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・保育、教育関係機関等との連携は相談員と共にに行っている。	・各関係機関との連携を図っていくよう体制を整えています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校との連携は相談員と共にに行っている。	・引き続き、学校との情報共有を適切に行っています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・保育、教育関係機関等との連携は相談員と共にに行っている。	・引き続き、就学前に利用していた各機関との情報共有と相互理解に努めます。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		・現時点では対象の子どもがいない為、その時期が来た際にはそれまでの支援内容等の情報の提供等を行います。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		・状況に応じ検討していきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・ニーズや状況に応じ検討していきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・参加しています。	・引き続き、積極的に参加します。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・日々の記録や状況に応じて電話やモニタリングをする中で子どもの状況を伝え合える環境づくりに努めています。	・引き続き、記録や状況に応じて電話やモニタリングをする中で子どもの状況を伝え合える環境づくりに努めています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		・ニーズや状況に応じ検討していきます。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・行っています。	・引き続き、丁寧な説明に努めます。また、質問をしやすい環境づくりに努めます。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・モニタリング等を通じ、保護者や子どもの意思の尊重をし、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。	・引き続き、モニタリング等を通じ、保護者や子どもの意思の尊重をし、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ています。	・引き続き、「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ます。

保護者への説明等	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・適宜、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っています。	・引き続き、適宜家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行います。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・ニーズや状況に応じ検討していきます。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・対応できる体制を整えています。	・引き続き、適切に対応できるよう体制を整えます。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・HPやブログを定期的に更新し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しています。	・引き続きHPやブログを定期的に更新し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信していきます。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵付きの棚に保管しています。不要になつた個人情報が記載されている書類はシュレッダーにて破棄しています。	・引き続き、個人情報の取り扱いには十分に留意します。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・日々の記録や状況に応じて電話や手紙等、それぞれ伝わりやすい方法での意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています。	・引き続き、それぞれ伝わりやすい方法での意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていきます。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・ニーズや状況に応じ検討していきます。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・マニュアルを策定し、職員に周知しています。	・マニュアルの周知徹底を図ると共に発生を想定した訓練を実施します。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・業務継続計画を策定しています。	・計画に基づき非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行います。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・保護者へのモニタリング等から子どもの状況の把握に努めています。	・引き続き、保護者へのモニタリング等を通して子どもの状況の把握に努めています。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・アレルギー診断結果をもとに家族に十分に聞き取りをし、対応しています。（現在医師の指示書が必要なアレルギー対象児無し）	・医師の指示書が必要な食物アレルギー対象児の利用があった場合、速やかに医師の指示書に基づき対応していきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	・安全計画を作成し、職員への周知をしています。	・引き続き、安全計画の周知徹底をすると共に安全管理に必要な研修や訓練等、安全管理が十分された中で支援を行っていきます。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全計画を作成しています。	・作成している安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知していきます。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・日々の記録をとり、ヒヤリハットを共有出来る環境づくりに努めています。	・引き続き、ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討していきます。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・外部研修に参加したり情報収集をしたりすることで虐待に関する正しい知識を身に付けるよう努めています。	・引き続き、虐待防止のため職員研修の機会を確保する等、適切な対応に努めます。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・現状身体拘束の必要性は無いに等しく、記載には至っていません。職員間での話し合いは適宜行っています。	・引き続き、チームで共通認識のもと支援が行えるよう話し合いを徹底し、必要に応じて決定する際には子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で計画に記載します。